

令和8年5月22日
北九州市政策局・産業経済局

報道機関各位

内閣総理大臣補佐官が北九州市を視察します ～市長による『フィジカルAI 共生都市宣言』も同日実施、最先端ロボットのデモを公開～

イラン情勢をはじめ国際情勢が不安定の中、エネルギーや重要資源の確保等の経済安全保障や、地域未来戦略等の地方創生政策を進める高市政権の中枢を担う、**井上貴博内閣総理大臣補佐官（衆議院議員）**が北九州市を視察され、**洋上風力発電、レアメタルリサイクル、フィジカルAI**など、本市の先進的な取組をご覧いただくこととなりました。

当日は、市長による説明のほか、フィジカルAIに関する意見交換・デモンストレーション、井上補佐官と市長によるぶら下がり取材を予定しています。ぜひご取材ください。

- 1 日 時 令和8年5月25日（月）13時00分～13時55分
- 2 場 所 北九州市役所5階 プレゼンテーションルーム
- 3 主な内容
 - 13:00～ 北九州市主要事業説明
 - 13:15～ 市長による「フィジカルAI 共生都市宣言」
—全国に先駆け、フィジカルAIの社会実装を推進—
 - 13:25～ ロボットの紹介および研究者等との意見交換
 - 13:45～ 写真撮影、井上補佐官・武内市長ぶら下がり取材

【参考】当日取材可能協力機関※各団体の詳細プロフィールは別紙をご覧ください。



【問合せ】

- 視察全体について：政策局政策課
柏木（課長）、篠原（係長） 093-582-2302
- フィジカルAI 共生都市宣言について：産業経済局未来産業推進課
福田（担当課長）、原（係長）093-582-2905

当日取材可能協力企業・大学



株式会社 TriOrb (トライオーブ)

九州工業大学発/AISol(AIST Solutions)スタートアップ認定のスタートアップ。球体駆動による独自の全方向移動モビリティを開発し、製造現場の自動化・省人化に寄与。2026年1月には米国に現地法人を設立し、グローバル展開に向けた技術開発を進める。



合同会社 Orboh-Japan (オルボージャパン)

九州工業大学の卒業生3人によるスタートアップ。2026年2月にUS法人 Orboh, inc. を起業。5月に日本法人を北九州市に設立。人手不足や高齢化という社会課題を解決するため VLA (視覚・言語・行動モデル) を搭載したヒューマノイドの知能の開発を進める。



有限会社 ICS SAKABE

市内に拠点を置くシステムインテグレーター。自動化設備の制御・機械設計や製作、産業用ロボット・IoTの導入支援を手掛ける。ロボットセンター小倉では産業用ロボット安全特別教育などを開催している。



早稲田大学大学院 情報生産システム研究科 橋本研究室

20年以上の二足ロボット研究を基盤に、ヒューマノイドや脚車輪型ロボットなど、実世界で活動するロボットシステムを研究。機械学習、環境認識、運動制御、ハードウェア設計を融合し、社会課題の解決に貢献するフィジカルAI技術の実現を目指す。



九州工業大学大学院 生命体工学研究科 田向研究室/田中(悠)研究室

自ら考え行動するロボット向けの人工知能やその半導体集積回路設計の研究に取り組む。ロボットの競技会「RoboCup」では、家庭用サービスロボット部門で世界大会7回の優勝を誇る。